

2018
9/7

Friday

13:30-17:00

Tokyo

第10回知識構造化シンポジウム 「SSMによる未然防止活動 における様々な工夫と発展」

会場：東京証券会館（東京都中央区）

参加費：4,860円（会員・一般とも）◆特典つき！詳細は裏面に◆

主催：一般財団法人日本科学技術連盟

後援：一般財団法人日本規格協会、一般社団法人日本品質管理学会、
日本信頼性学会、一般社団法人KEC関西電子工業振興センター、
一般社団法人日本自動車部品工業会、株式会社日科技連出版社

不具合情報・技術情報から知識を一般化・体系化し、再発防止・未然防止に有効活用するSSMによる構造化知識マネジメントは、多くの業種・企業で取り組まれています。具体的には、過去不具合の知識運用に留まらず、設計・試験など様々な業務に役立つノウハウの活用やデザインレビュー・FMEA 実施結果の再利用など、未然防止活動を組織に根付かせるための工夫も進められています。また、昨今ではAI/IoTとも連携した発展的な活動も期待されています。

第10回目を迎える今回のシンポジウムでは、SSM活動を継続的に実践している2社の事例と、AI/IoTとSSMを組み合わせた新しい取り組みについてご紹介します。各社の講演を通じて、導入中・導入検討中の皆様に役立つヒントをご提供します。

※本シンポジウムは実践に重点をおいた内容となっています。下記の書籍を事前にお読みいただくと、一層効果的です。

『SSMによる構造化知識マネジメント－設計開発における不具合防止に役立つ知識の構築と活用－』

（田村泰彦 著 日科技連出版社）

『JSQC選書 第4巻『トラブル未然防止のための知識の構造化－SSMによる設計・計画の質を高める知識マネジメント－』

（田村泰彦 著 日本品質管理学会監修 日本規格協会）

プログラム

時間	内容／講演者（敬称略）
13:30-13:40	オリエンテーション
13:40-15:40	事例講演1：「SSMによる設計不具合未然防止システムの運用領域拡大における工夫」 岩本 正巳（株）SCREEN セミコンダクターソリューションズ 品質統轄部 統轄部長） 茂森 和士（株）SCREEN セミコンダクターソリューションズ ビジネス本部 TS製品統轄部 プロダクトマネジメント部 担当課長） 事例講演2：「バスシステム機器におけるSSMを活用した ソフトウェア設計・試験での再発防止」 岩田 淳（レシップ株）品質保証部 ソフト評価グループ） 事例講演3：「AI/IoT技術と知識構造化手法との連携による事故・不具合リスクの評価支援」 佐藤 一郎（東京海上日動リスクコンサルティング株）企業財産本部 本部長） 矢野 良輔（東京海上日動リスクコンサルティング株）企業財産本部 エキスパートリスクアナリスト）
15:40-16:10	特別解説：「SSM活動の導入・継続におけるポイントと知識運用の様々な工夫」 長谷川 充（株）構造化知識研究所 シニアコンサルタント）
16:10-16:50	総合討論：全講演者 コーディネータ：田村 泰彦（株）構造化知識研究所 代表取締役）
16:50-17:00	まとめ

※プログラムは予定です。時間・講演内容・タイトルなど予告無く変更される場合がありますので予めご了承ください。

お問合せ先

一般財団法人 日本科学技術連盟品質経営研修センター 研修運営グループ TQM チーム SSM 担当

TEL：03-5378-1213 E-mail：tqmsemi@juse.or.jp

お申込みは裏面をご利用頂くか、日科技連ホームページ URL：http://www.juse.or.jp/ をご確認ください。

概要 (講演者敬称略)

事例講演1 「SSMによる設計不具合未然防止システムの運用領域拡大における工夫」

岩本 正巳(株)SCREEN セミコンダクターソリューションズ 品質統轄部 統轄部長)

茂森 和士(株)SCREEN セミコンダクターソリューションズ ビジネス本部 TS 製品統轄部 プロダクトマネジメント部 担当課長)

弊社では、主力製品である枚葉式洗浄装置の設計品質向上のため、開発設計でのSSM運用を短期間で開始した(2013年の第5回知識構造化シンポジウムで紹介)。その後、他の製品にSSM運用領域を拡大し、開発および受注設計の設計FMEAにおいてSSM知識を活用した設計品質の向上を行っている。SSM運用領域拡大の過程では、検索性向上のため、解析入口の改善の取り組みを行った。また、現在、設計FMEA効率化のため、FMEA情報のSSM知識化を開始している。本講演では、これらの活動内容について紹介する。

事例講演2 「バスシステム機器におけるSSMを活用したソフトウェア設計・試験での再発防止」

岩田 淳 (レシップ(株) 品質保証部 ソフト評価グループ)

弊社ではバス・ワンマン鉄道用システム機器の製造および販売をしている。近年では高性能・多機能な製品が増え、ソフトウェアによる複雑な制御をすることによって不具合が増加してきた。この課題に対して、SSMを導入することで不具合の再発防止を推進してきた。具体的には、市場クレームや試験工程で検出されたバグから知識を整理・蓄積し、設計段階および試験工程で活用している。本講演では、これまでの取り組みの経緯と現状について紹介する。

事例講演3 「AI/IoT技術と知識構造化手法との連携による事故・不具合リスクの評価支援」

佐藤 一郎(東京海上日動リスクコンサルティング(株) 企業財産本部 本部長)

矢野 良輔(東京海上日動リスクコンサルティング(株) 企業財産本部 エキスパートリスクアナリスト)

当社は、自然災害、事故等のリスク評価、リスクマネジメントを主たる業務とし、お客様に役立つリスク評価の知見を蓄積している。昨今のAI/IoT技術の進展は産業システムを変革するものと期待されているが、周知のとおり、事故・不具合の予知や未然防止の支援は容易でなく工夫が必要である。本講演では、この分野のAI/IoTの一般的な動向を概説するとともに、当社が取り組んでいる知識構造化手法とAI/IoT技術(自然言語処理など)の連携によるリスク評価支援について紹介する。

特別解説「SSM活動の導入・継続におけるポイントと知識運用の様々な工夫」

長谷川 充 (株)構造化知識研究所 シニアコンサルタント)

総合討論 (全講演者)

コーディネータ: 田村 泰彦 (株)構造化知識研究所 代表取締役)

◆参加者特典のご案内◆

本シンポジウムの参加者特典として、日科技連主催「設計開発における不具合未然防止のための知識活用セミナー」(参加費:一般72,360円、会員64,800円)の参加費割引[一般・会員とも4,860円/1名の割引]を実施します! 本特典は3名様(シンポジウム参加者ご本人+2名)までご利用可能です。上記セミナーに参加される場合、本シンポジウムの参加費分が割引かれる大変お得な特典です。ぜひご利用ください! なお、本特典をご利用になる際には、上記セミナーお申込み時に、本シンポジウム当日に配付する専用申込書が必要となります。

◆お申込み先: セミナー受付グループ (FAX: 03-3344-3022 / regist@juse.or.jp / TEL: 03-5990-5849)

※No欄は記入しないでください

第10回知識構造化シンポジウム参加申込書

2018年 月 日

No	ふりがな 参加者名	所属事業所・部課・役職名	所在地	電話
			〒	
			〒	
			〒	

●連絡担当者さま (お申込み受付後「開催ご通知」をお送りする方)

会社名	事業所名	電話
部課/ 役職名	ふりがな 担当者名	FAX
所在地 (〒 -)	E-mail	
参加費	4,860円(税込み) × 名 = 円	

※ご記入いただいた企業・組織及び個人情報、参加申込み受付処理ならびに日科技連からのセミナー情報ご送付のために使用いたします。また、当該個人情報は必要なセキュリティ対策を講じ、厳重に管理し、第三者に提供することはありません。なお、お申込みいただいた方には当連盟のセミナー・研究会・講演会等をご案内する場合がございます。また、その際、宛名データを外部に委託する場合がありますのであらかじめご了承ください。ただし、ご要請があればご案内を速やかに中止いたします。

※事前のキャンセル連絡がなく欠席された場合は、資料のご送付と引き替えに参加費を全額頂戴いたします。